

## 研究課題名： ICUにおける Refeeding 症候群の疫学調査：後ろ向き観察研究

所属（診療科）：集中治療部

研究責任者（職名）：吉田 稔

研究期間：倫理委員会承認より 2022 年 3 月 31 日まで（症例数に応じ、研究期間を延期）

### 【目的】

- Refeeding 症候群とは、栄養不良患者様に再度栄養投与することにより生じる、致死的な代謝合併症として知られています。ICU では発症すると死亡率が高いと言われています。しかし、現在でもその病態・頻度について完全には解明されていません。近年、重篤な状態や手術後など高度のストレスを持つ患者様でも発症することがわかってきています。最新の欧州栄養ガイドラインでも ICU に入室する患者様では、Refeeding 症候群の予防・早期認知・治療が重要とされています。
- 当院 ICU に入室した患者様における National Institute for Health and Clinical Excellence (NICE) の Refeeding 症候群のリスクの頻度、リスクと予後について検討を行います。

### 【意義】

Refeeding 症候群のリスクを評価することにより、特別な栄養療法が必要な患者様、電解質をより厳密に評価しなければならない患者様を認識でき、Refeeding 症候群の発症を予防・早期に認知でき死亡率改善を見込める可能性があります。

### 【研究内容】

- 対象：2016 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の期間に ICU に入室した成人患者様（症例数に応じ、研究期間を延期します。）
- 研究方法：横須賀市立うわまち病院集中治療部における単施設後ろ向き観察研究
- 利用する情報・資料：集中治療学会主導の Japanese Intensive care Patient Database から患者データ（性別、年齢、入院日、体重、身長、BMI、既往歴、APACHE II・SOFA スコア（重症度スコア）、ICU 入室・退室日時、ICU 入室期間、在院日数、院内死亡、その他転機等

今回の研究に必要なデータ：NICE のリスク因子（入室前の食事摂取状況、採血での電解質、6 ヶ月以内の体重減少、内服歴、アルコール飲酒歴等）、ICU 入室期間中の栄養摂取量、栄養投与ルート等

問い合わせ先：研究担当者 吉田 稔

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX:046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）